

< 機械・農作業の共同化を目標としている事例 >

無人ヘリによる防除と地上防除による共同作業

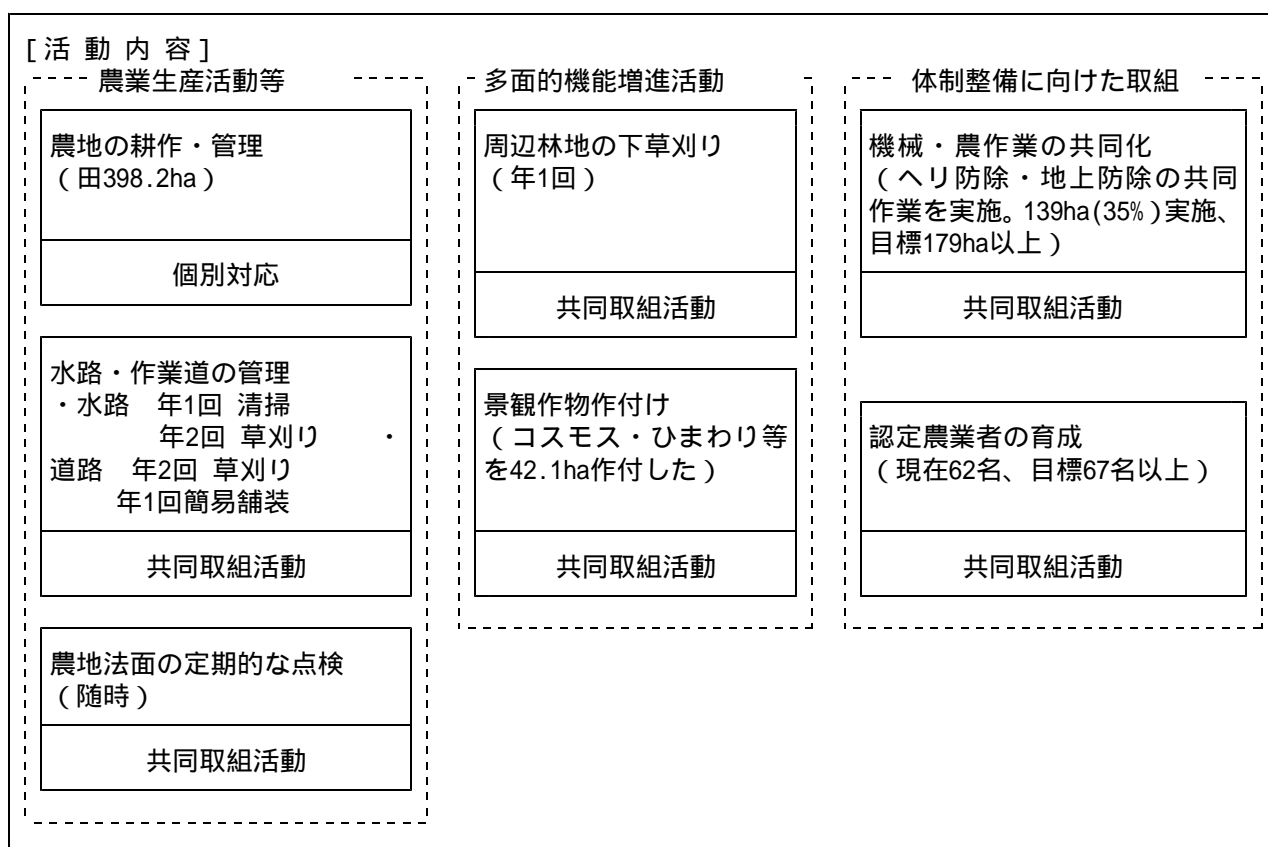
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県由利本荘市 <small>ゆりほんじょうし</small> やしま			
協定面積 398.2ha	田(100%) 水稲、転作作物	畑 -	草地 -	採草放牧地 -
交付金額 4,549万円	個人配分			49%
	共同取組活動	担当者活動経費		5%
		整備に向けた活動費等		1%
		鳥獣害防止対策、水路農道等の維持・管理等共同取組活動費		32%
		農用地の維持・管理活動経費		8%
事務費		5%		
協定参加者	農業者377人、無人ヘリ利用組合(構成員13人) 土地改良区1組織			

2. 集落マスタープランの概要

当集落は、半数以上が高齢化の状態にあり、過疎化の問題と重なり集落機能の低下が懸念されている。

このため、集落の継続的かつ安定的な農業生産活動を維持していくために認定農業者等を中心に農作業の受委託等を引き受ける体制を整え、生産法人等も視野に入れて地域の活性化を目指すこととした。



3. 取組の経緯及び内容

旧矢島町は山形県と県境を接した、鳥海山の北東山麓に開けた地域である。

制度が始まった当時はそれぞれで協定を結んでいたが、17年度からは土地改良区で事務を委託することによって55の協定がひとつになった。

過疎化が進む中、将来の集落の機能低下が懸念されるが、農業生産活動等を維持していくために認定農業者等を中心に作業受託できる体制を整え、法人化も視野に入れて地域の活性化を目指す。

具体的には、ヘリ防除・地上防除の共同作業を実施し、その面積が作付け面積全体へ及ぶよう推進する。そのことによって、病害虫の予防を徹底し、被害を最小限に抑え、安定した収穫を図る。



農用地等保全マップ

農地法面、水路、農道等の管理（清掃、草刈り等）や補修・改良が明確に判別できる。

また、隔年で碎石、部分舗装等の作業を行う目的で作成。



共同による草刈り作業



景観作物の風景

[平成21年度までの取組目標]

無人ヘリ利用組合購入のヘリ等を共同利用した、ヘリ防除・地上防除等の共同作業
(当初139ha 目標179ha以上(協定農用地面積の45%))

認定農業者の育成(当初62名 目標67名以上)

農地の耕作・管理、水路及び農道等の清掃・草刈り(年2回程度)、隔年碎石、部分舗装等の作業
周辺林地の下草刈りを年1~2回程度行い、景観作物(コスモス・ひまわり等)の作付け